

イベント情報

●のどしま水族館

5/5「こどもの日」中学生以下入場無料
 日 時：令和7年5月5日（月・祝） 9:00～17:00（入場は16:30まで）
 場 所：のどしま水族館
 【お問合せ】のどしま水族館 ☎0767-84-1271

●でか山茶会

お祭りにぎわいを楽しみ、ひとときお茶を一服味わいましょう。
 日 時：令和7年5月5日（月・祝） 9:00～14:00 受付 料金：2席3,000円
 場 所：願正寺（検物町）表千家流三室社中、寄り合い処 みそぎ（一本杉町）茶道裏千家七尾会
 【お問合せ】お茶の上林 ☎0767-53-4117

●あんやとフェス

ライブパフォーマンスやワークショップ、キッチンカーなど、大人も子どもも楽しめるコンテンツが盛りだくさん！
 日 時：令和7年5月3日（土・祝） 11:00～14:00
 場 所：能登歴史公園（芝生広場）
 【お問合せ】あんやとフェス実行委員会 ✉anyato.fes@gmail.com

●パトリアイベント

■パトリアおもいで写真展

かつてのパトリアや七尾駅前の姿を収めた、懐かしい写真の数々を展示します。
 期 間：令和7年5月3日（土・祝）～6月1日（日）
 場 所：パトリア1F

■夢のスーパーカー大集合!

誰もが一度は憧れる“夢のスーパーカー”。その姿を、間近で。エンジン音を、体感で。普段はなかなかお目にかかれない、貴重なチャンスがやってきます！
 日 時：令和7年5月4日（日・祝） 11:00～15:00
 場 所：パトリア、ミナクル前広場
 【お問合せ】株式会社ななお ☎0767-54-0770

●「こども山」イベント

青柏祭でか山の1/4サイズの「こども山」をひっぱることができます。たくさんのキッチンカーやストリートイベントも開催。
 日 時：令和7年5月5日（月・祝） ①10:30～ ②11:15～
 場 所：パトリア・ミナクル
 【お問合せ】株式会社ななお ☎0767-53-2020

●和倉温泉お祭り会館イベント

休憩中の和倉温泉お祭り会館が臨時開館します。青柏祭クイズや祭り道具「ざい」作り体験も行います。クイズ正解者には、七尾銘菓「ながまし」をプレゼント！
 日 時：令和7年5月3日（土・祝） 9:00～17:00
 入館料：（特別料金）高校生以上：500円 小・中学生：無料
■ざい作り体験
 木遣り衆などが用いる縁起の良い祭り道具を作ります。
 時 間：①10:00～ ②14:00～
 料 金：1本：1,000円（要予約）
 場 所：和倉温泉お祭り会館
 【お問合せ】（一社）ななお・なかのとDMO ☎0767-62-0900



ご予約はこちら

●台湾台北艋舺青山宮獅子舞来日

七尾市の震災復興を祈念し、普段披露しない獅子の酒舞などを披露。
 日 時：令和7年5月4日（日・祝） ①13:30～ ②14:50～
 場 所：①大地主神社（山王神社） ②能登食祭市場
 【お問合せ】七尾市交流推進課 ☎0767-53-8424

●大豆飴フェス

七尾銘菓「大豆飴」を使って、鷗学園高等学校の学生が開発した「FUCCO」のほか大豆飴を使用したジェラートやパウンドケーキなどを販売します。
 日 時：令和7年5月5日（月・祝） 10:00～15:00
 場 所：能登食祭市場 正面玄関前
 【お問合せ】鷗学園高等学校 ☎0767-53-2184

交通アクセス



●JR利用

東京から／北陸新幹線「かがやき」で金沢乗り換え・特急「能登かがり火」利用 約3時間35分
 大阪から／特急「サンダーバード」で敦賀乗り換え・北陸新幹線「つるぎ」で金沢乗り換え・特急「能登かがり火」利用 約3時間50分
 名古屋から／東海道新幹線「ひかり」または特急「しらすぎ」で敦賀乗り換え・北陸新幹線「つるぎ」で金沢乗り換え・特急「能登かがり火」利用 約3時間30分

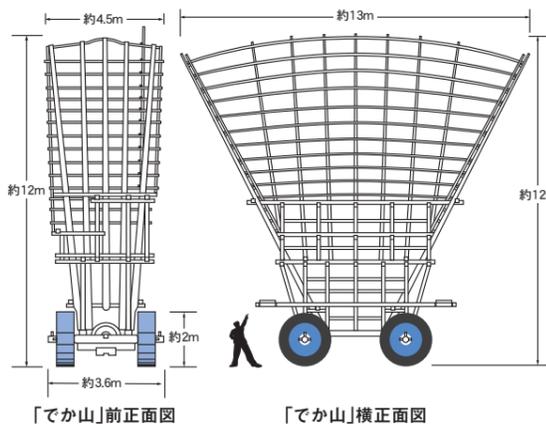
でか山略解説

若葉が薫る5月には、七尾では恒例の青柏祭が執行され、大地主神社に3台のでか山が奉納されます。

このでか山は大変古い伝統を継承するもので、昭和58年（1983）「青柏祭の曳山行事」として国の重要無形民俗文化財に指定され、平成28年（2016）には、でか山を含めた全国33件の「山・鉦・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されています。

「でか山」と呼ばれる巨大な山車には、舞台飾りの場面のどこかに一本の若松を立てて、神々の降臨を仰ぎ、事業の発展や諸々の悪疫の退散を祈り、併せて日々の豊かな暮らしも祈念します。

このように来る年毎に神々を迎え入れて祈念する美しい習慣が、何百年も伝えられていることは、七尾の人々の大きな誇りの一つでもあります。この「でか山」には、人々が社会生活を営む上で大切な心の持ち方を教えている古い芝居の名場面を飾って、その年の心掛けの一つとしています。



お問い合わせ

〒926-8611 石川県七尾市袖ヶ江町イ部25番地
七尾市産業部交流推進課
 TEL (0767) 53-8424 FAX (0767) 52-2812 E-mail: koryu-s@city.nanao.lg.jp



能登七尾

せい はく さい

青柏祭

SEIHAKUSAI DEKAYAMA IN NANAO

でか山

令和7年

5月2・3・4・5日

（人形見）（午後9時から）

ユネスコ無形文化遺産「山・鉦・屋台行事」 国指定重要無形民俗文化財「青柏祭の曳山行事」

七尾市・青柏祭でか山保存会

でか山位置情報・駐車場・交通規制などについて、詳細はこちらからご確認ください。



令和7年度 青柏祭に係る各山町運行時間

	鍛冶町	府中町	魚町
1日(木)	20:00 大地主神社境内～鍛冶町三差路曳出し(試運行)	19:00 印鑰神社～大手町角曳出し(試運行) 20:00 印鑰神社前着	
	23:00 鍛冶町三差路着(見附)		
2日(金)	8:00 飾り付け(鍛冶町三差路)	8:00 飾り付け(印鑰神社前)	15:00 御祓地区コミュニティセンター～一本杉公園入り口(試運行) 17:00 御祓地区コミュニティセンター前
	21:00 鍛冶町三差路祭礼【宵山】 21:30 鍛冶町三差路曳出し(花火合図) 23:30 大地主神社境内着		8:00 飾り付け(御祓地区コミュニティセンター) 19:00 お籠もり(気多本宮神社)
3日(土)			
4日(日)		0:00 印鑰神社祭礼 1:00 印鑰神社境内曳出し(花火合図)【朝山】 7:00 大地主神社境内着	7:00 (花火合図) 7:10 魚町見附祭礼 8:00 魚町見附曳出し【本山】花火合図 12:30 大地主神社境内着
	16:00 大地主神社境内曳出し【送り山】	15:30 大地主神社境内曳出し【戻り山】	14:00 大地主神社境内曳出し【戻り山】 18:15 一本杉通り仮設商店街交差点着 18:40 曳出し 19:00 魚町見附着
5日(月)	7:30 鍛冶町三差路曳出し【裏山】	19:30 大手町角着(夜見せ)	9:00 魚町見附曳出し【裏山】 9:30 御祓川仙対橋着(御祓川大通り巡行)
	10:30 御祓川仙対橋着(御祓川大通り巡行) 11:30 能登食祭市場前着(臨港道路)	9:30 大手町角曳出し【裏山】 9:45 御祓川仙対橋着(御祓川大通り巡行) 10:00 能登食祭市場前着 10:30 稚児 奉幣待ち神事【でか山前】	11:15 能登食祭市場前着(臨港道路)
		12:00 能登食祭市場前曳出し 12:35 パトリア・ミナ.クル前着	
	12:20 能登食祭市場前曳出し 12:40 臨港道路通行止め解除	12:10 能登食祭市場前曳出し 12:40 七尾駅北交差点前着	
	12:45 七尾駅北交差点前着		
	13:10 七尾駅北交差点前曳出し 13:20 御祓川仙対橋着(曳回し) 13:30 御祓川仙対橋曳出し 14:00 魚町見附着 14:40 魚町見附曳出し 15:10 御祓川仙対橋着	13:50 七尾駅北交差点前曳出し 14:20 御祓川仙対橋 「はるなお駐車場」前着	14:30 パトリア・ミナ.クル前曳出し 14:50 御祓川仙対橋着 「しるべ蔵」前着
	15:30 御祓川仙対橋曳出し		
	20:30 鍛冶町三差路着(見附) 21:30 鍛冶町三差路曳出し	16:20 「はるなお駐車場」前曳出し 大榎子(辻廻し) 17:50 魚町見附着 18:10 魚町見附曳出し 19:00 木遣道中唄～仙対橋通過 19:20 大手町角着 21:00 大榎子(辻廻し)披露 21:30 大手町角曳出し【女山】	15:40 「しるべ蔵」前曳出し 大榎子(辻廻し) 17:40 松本町着 20:00 松本町曳出し 22:00 御祓地区コミュニティセンター曳入れ
	23:30 大地主神社境内到着【納め山】	23:00 印鑰神社境内到着	

【はじまり】

青柏祭は、平安時代の天元4年(981)に時の国主源順(みなもとのしたごう)が能登の国祭りとして定めたのが始まりと言われる。能登畠山氏3代城主義統は、京文化の移入に熱心で、京の祇園山鉦にならって文明5年(1473)国祭りの青柏祭に曳山(山車)を奉納したのが、でか山の始まりと伝えられている。江戸時代の一時期には曳山の高さは18mもあった。

【みどころ・辻廻し】

狭い街角で、巨大な曳山を方向転換させるシーンは見逃せない。掛け声も勇ましく長さ8mの大榎子に若連中が鈴なりになって曳山の前車輪を浮かせ、地車を入れて辻を曲がる。

でか山(青柏祭の曳山行事)運行図と人形宿



令和7年度 青柏祭 人形見・人形宿 (5月2日) 夕刻

鍛冶町

平安京 一条院歌会の間

紫式部・一条天皇・藤原道長

「お前の書いた物語のおかげだ。あらためて礼を言う」
 宴のさなか、藤原道長は紫式部にそっと語りかけた――。
 平安中期、一条天皇の御代。都は大水と地震に立て続けに見舞われた。死者は千人を超えた。帝の行いが天変地異をもたらしたと神託があった。一度は仏門に入った後、中宮定子を帝は呼び戻して寵愛していた。これが神の怒りがあったのだという。内裏を清めるために左大臣・藤原道長は愛娘の影子を中宮にする。必ずしも権勢欲からだけではなかった。史上初めて一帯に二人の后が立った。当の帝はなかなか影子のもとを訪れない。影子のそばで帝を惹きつける物語を書くよう道長は紫式部に依頼した。紫式部の『源氏物語』は宮中で大きな評判を呼んだ。帝は影子のもとへ通いはじめる。寛弘5年(1008)、影子は待望の皇子を産んだ。皇子誕生を祝う宴は母子が実家から一条院へ戻っても続けられた。公卿らはこそぞて寿ぎの歌を披露した。

番号	人形名	人形当番宅
1	紫式部	神明町/ミナ.クル
2	一条天皇	山王町/大地主神社山王閣
3	藤原道長	湊町/湊町1丁目会館

府中町

清須城普請乃場

織田信長・木下藤吉郎・前田犬千代

「天災のあとは、いかに早くもとへ戻すが肝心にごじます」
 木下藤吉郎は主君・織田信長へ懇命に訴えた――。
 永禄初年、織田信長は尾張の支配を固めつつあった。その夏、居城とする清須城が暴風雨に襲われた。城の石垣は約百間(180m)もの長さに渡って崩れ落ちた。東からは上洛を狙う今川義元の大軍が迫りつつある。城の修繕は一刻の猶予もなかった。工事は普請奉行が担う。二十日経っても遅々として進まない。位の低い木下藤吉郎が遅れを批判した。たしなめた信長に自分なら三日で完成させてみせると言い切る。信長は藤吉郎に任せる。藤吉郎には自分なりの策があった。盟友・前田犬千代(のちの利家)に協力をあおいで実行に移した。工事箇所を一定の長さに区切る。職人を等分してそれぞれ受け持たせる。賞金をちづかかせて競争させる。思惑どおり職人たちは二日あまりで工事を終えた。永禄3年(1560)、清須城を打って出た信長は桶狭間で今川軍を破った。

番号	人形名	人形当番宅
4	織田信長	府中町/吉田 裕志
5	木下藤吉郎	檜物町/のと共栄信用金庫
6	前田犬千代	府中町/印鑰神社社務所

魚町

小丸山城入城の間

前田利家・お松の方・長連龍

「この城から、能登の国をいっそう栄えさせてみせようぞ」
 真新しい城に入った前田利家は正室・お松の方を前に誓った――。
 天正5年(1577)、難攻不落といわれた七尾城は上杉謙信に攻め落とされた。城主畠山家の家臣による復讐が決め手となった。反乱によって重臣・長一族は次々謀殺された。生き残った長連龍は織田信長に助けを求めた。信長の家臣・前田利家とともに連龍は各地で戦いを重ねる。落城から四年後、七尾城はついに信長に明け渡された。連龍は悲願であった一族の仇討ちを果たした。信長は利家に能登一国を与える。三万石余の越前一城主から二十三万石の国持大名へ。破格の出世といつてよい。山頂にあって不便な七尾城を利家は廃した。新たにふもとの小丸山に城を築く。港からも近い小丸山城は治世、経済の面で利が大きかった。能登は新時代を迎える。信長の死後、連龍は利家の家臣となった。以後、長家は代々前田家に仕えて加賀百万石を支えた。

番号	人形名	人形当番宅
7	前田利家	一本杉町/岡田翔太郎建築デザイン事務所
8	お松の方	魚町/小川 繁夫
9	長連龍	馬出町/寄合い処 みそぎ